



## 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果から



4月に実施されました平成29年度全国学力・学習状況調査の結果が明らかになり、その結果を分析してみました。

学テの調査目的は、児童の学力状況を把握・分析し、学力向上を図るためどのように授業を改善していくか、指導を工夫していくかという、指導方法の工夫・改善を目的としています。したがって、子どもの優劣を決めるために実施されているものではありません。

しかし、全国的な調査ですので、学校としてはこの結果を真摯に受け止め、どうすれば学力向上につながっていくかについて検討する材料として活用しています。

結果の分析を通して、明らかになった弘道っ子の状況と今後の課題についてお伝えしたいと思います。学力向上を図るためには、家庭での学習や生活も合わせて改めていくことも重要となりますので、以下の点について、ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

《結果》 \* A ; 主として「知識」に関する問題 B ; 主として「活用」に関する問題

	国 語		算 数	
	国語A	国語B	算数A	算数B
全国との比較	同程度	同程度	努力が必要	同程度

### 【弘道小学校で特に全国と比較して正答率が低く、課題がみられたもの】

教科	課題のあるもの	分析の結果と対応策
国語A	話し合いをまとめる	グループなどでテーマにそって話し合った際、様々な意見をグループの考えとして1つにまとめることが必要となる。互いの考えの共通点や相違点をいかにまとめていくかが課題。 【今後の取組・対応策】 グループや班で話し合う機会を設け、意見を整理しまとめ発表するような学習場面を意図的に設定していきます。
	手紙の後付けの順	手紙の最後に付ける内容（日付・自分の名前・相手の名前）の書く順番と書く場所が課題。 【今後の取組・対応策】 お礼状を書くような機会を使って、理解・定着を図っていきます。
国語B	条件作文	文章を書く際、字数制限（○字以上、□字以内）、「○○にふさわしい言葉づかいで」、「文中の言葉を使って」など、いくつかの条件にそって文章を書くことが課題。 【今後の取組・対応策】 授業の振り返りの際に、条件作文を取り入れる、説明する際に条件をつけて発言するなど、日常の活動の中に条件作文を取り入れた場面を設けていきます。
算数A	二次元表を完成させる	2種類のデータが、どのような分類に整理できるか表にまとめることができるか。表が表す意味を理解することが課題。 【今後の取組・対応策】 二次元表の仕組みを理解し、表に整理する機会を設けていきます。

算数B	基準量と比較量の関係	従来から課題となっている割合の問題。基準量、比較量、割合の関係を正しくとらえることができていない。 【今後の取組・対応策】 割合への理解を図るため、基準量（1＝もとにする量）、比較量（くらべる量）、割合の関係を線分図に表すようにしていきます。
-----	------------	---

## 無解答

今回、本校は問題に対して無解答（答えを書かない＝白紙）率が大変高い実態がありました。これは、「時間がなく最後の問題までたどりつけなかった」、「わからなくて答えを書くことが出来なかった」などの理由が考えられます。一人一人の解答をみていくと、実態としては問題がわからなくて答えられなかった子が多いという状況でした。

難しい問題でも、途中でなげださず、最後まで解こうとする気持ちが大切です。

今後本校では、低学年から、自分なりの答えを出す。また、自分の考えをもつことができるよう取り組んでいきます。



## 児童質問紙から見てきた本校の強みと弱み

- \* 「改善」は昨年度調査から改善され、全国を上回っているもの
- \* 「維持」は昨年度と変化のないもの
- \* 「悪化」は昨年度より悪化し、全国を下回っているもの

弘道小の強み（成果）	昨年比	弘道小の弱み（課題）	昨年比
毎日朝食を食べている児童が全国平均より高い。	改善 ↑	学校の授業時間以外に、1日に読書をまったくしない児童が全国より大変低い。（改善はみられるが、まだ全国の半数）	改善 ↑
毎日同じくらいの時刻にねている児童は、全国平均より高い。	改善 ↑	読書は好きと答える児童が大変低く、全国平均の約半数しかない。	悪化 ↓
毎日同じくらいの時刻におきている児童は、全国平均より高い。	維持 →	学校に行くのは楽しいと思っている児童が全国平均より低い。	悪化 ↓
普段の日の1日あたりのテレビ、ビデオ、DVDを見る時間が、2時間以上の児童が、全国平均より低い。	改善 ↑	学校で好きな授業があるという児童が全国平均より低い。	悪化 ↓
平日の1日あたりの勉強時間が2時間以上（学習塾を含む）の児童は、全国平均より高い。	改善 ↑	土、日の1日あたりの勉強時間が2時間以上（学習塾を含む）の児童は、全国平均より低い。	悪化 ↓
携帯、スマートフォンをもっていない児童が、全国平均よりかなり低い。	維持 →	将来の夢や目標をもっている児童が、全国平均より低い。	悪化 ↓
今、住んでいる地域行事に参加している児童が全国平均よりかなり高い。	維持 →	地域や社会のために何をすべきか考えることがある児童が、全国より低い。	悪化 ↓
自分にはよいところがあると思っている児童が全国平均より高い。	維持 →		

昨年度と比較して、ご家庭のご協力をいただき、基本的な生活については随分と改善を図ることができました。ありがとうございます。しかし、依然と大きな課題として残っているのが、土・日の過ごし方（家庭学習時間、睡眠時間）と家庭での読書です。家読（うちどく）の取組を、よろしくをお願いします。

本校の最大の課題は、「学校に行くのが楽しい」と感じていない子が全国平均よりかなり高いということ、また、「学校で好きな授業がある」という児童が全国平均よりかなり低いということです。これは、学校側の問題です。

この事実をしっかり受け止め、一人一人の心に寄り添い、楽しく学習したり生活したりできるよう改善を図っていきたいと考えています。